



令和5年10月5日～6日

第60回

# 全国建設業労働災害防止大会 in 広島 開催!!



## 現地開催とオンライン配信の「ハイブリッド開催」

### オンライン視聴

### 配信期間

|                | 配信期間                    |
|----------------|-------------------------|
| 総合集会           | 令和5年10月10日（火）～11月13日（月） |
| 専門部会           | 令和5年10月5日（木）～11月13日（月）  |
| 安全衛生保護具等Web展示会 | 令和5年10月5日（木）～11月13日（月）  |

「第60回全国建設業労働災害防止大会」が、広島県広島市の広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）ほかで開催されました。

全国大会は、全国的な安全衛生水準の向上を目的に、昭和40年より毎年欠かさことなく開催し、本年度60回目となり、広島県では12年ぶりの開催となります。

今年も、現地とオンラインのハイブリッドでの開催となりましたが、初日には「総合集会」、2日目には「専門部会」が開催され、全国から会員をはじめとする関係者が2日間で延べ6,600名が参加されました。今大会は、

### 「仲間を思いやる一声 みんなで実現しよう安全な職場」

のスローガンのもと、総合集会では、国歌斉唱、労働災害によって亡くなられた方々への黙祷を捧げた後、安全衛生活動に功労・功績のあった方への表彰を行い、「安全の誓い」の宣言が行われました。

専門部会では7部会に分かれ、会員企業などが取り組み成果をあげた最新の安全衛生管理活動の発表や、行政による講話などが行われました。

## 総合集会

- 10:30 | 開場
- 12:15 | 広島県・広島市観光映像
- 13:15 | 開会
- | 黙祷
- | 挨拶 ..... 建設業労働災害防止協会 会長 今井 雅則
- | ビデオメッセージ ..... 内閣総理大臣 岸田 文雄
- | 来賓挨拶 ..... 厚生労働大臣 武見 敬三  
     ..... 国土交通大臣 斉藤 鉄夫  
     ..... 広島県知事 湯崎 英彦  
     ..... 広島市長 松井 一實
- | 歓迎のことば ..... 大会実行委員長・広島県支部長 檜山 典英
- 13:50 | 安全衛生功労者に対する表彰・顕彰基金による顕彰
- 14:10 | 安全の誓い ..... 大会副実行委員長 細谷 浩昭
- 14:15 | 講演「労働安全衛生行政の動向について」  
     ..... 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部長 小林 洋子
- 14:35 | アトラクション 神楽「八岐大蛇」 ..... 琴庄神楽団
- 15:20 | 講演「宇宙からの贈りもの」 ..... 宇宙飛行士 日本科学未来館名誉館長 毛利 衛



## 挨拶

### 今井 雅則 建設業労働災害防止協会 会長

第60回全国建設業労働災害防止大会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。はじめに、労働災害等でお亡くなりになられた方に心から哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

全国建設業労働災害防止大会は、当協会が創立された昭和39年の第1回大会開催以降、会員各位をはじめ関係者の労働災害防止に寄せる熱意と協力の下に毎年開催してまいりました。そして今年も、先日G7広島サミットが開催され、国際平和文化都市を目指す、広島市において第60回大会を開催することができましたことを、広島県、広島市並びに関係各位に心より感謝申し上げる次第です。

本日は公務ご多忙の中、厚生労働省、国土交通省の行政当局から、また、湯崎広島県知事並びに松井広島市長にご臨席を賜りまして、重ねて心より感謝申し上げます。

本大会は、「仲間を思いやる一声 みんなで実現しよう安全な職場」をスローガンに掲げ、本日と明日の2日間、広島県立総合体育館及び広島国際会議場において開催するとともに、来週からオンラインによる配信も行うこととしております。

さて近年、台風の大規模化、線状降水帯による局地的な豪雨など、大規模自然災害が頻発しております。

主に、二酸化炭素排出量の増加による地球温暖化により引き起こされた気候危機ではありますが、ここ広島におきましても2014年、2018年と相次いで大雨による土砂災害が発生しております。被災地域での迅速な道路の啓開や復旧・復興工事、あるいは防災・減災・国土強靱化のための工事やライフラインの点検・整備など、最前線で地域社会の安全・安心の確保を担う守り手として我々建設業の役割は一層重要なものとなっております。

一方、昨今の建設業界を取り巻く社会的状況は、我が国全体で急速に少子高齢化が進んでいるなか、他産業と比べ特に若者離れや高齢化が著しく、このまま生産体制を将来に亘って維持していくためには、DX等による生産性の向上を推進するとともに、次世代の担い手を確保するために週休2日制の導入や「働き方改革」を推進するなど、安全で安心して働くことのできる職場環境の形成をより一層進めなければなりません。

このような状況のなか、会員各位をはじめとする関係者の熱意と日々の自主的な労働災害防止活動により、建設業における労働災害は、長期的には減少傾向にあります。死亡災害は未だ全産業の36.3%と大きな割合を占めています。

また、労働災害の減少幅は年々鈍化し、近年は増減を繰り返しており、死亡災害については令和3年から増加に転じ令和4年においても前年比3人増の281人となっております。事故の型では、「墜落、転落」、年齢は「60歳以上」が、それぞれ建設業における死亡災害全体の40%を超える高い割合となっております。

こうした現状を踏まえ、当協会では令和5年度から令和9年度を計画期間とする「第9次建設業労働災害防止5か年計画」を策定しました。第9次計画では、建設工事に従事するすべての方が安全で安心して働ける魅力ある職場づくりを目指し、次の4つの目標を設定しました。

- ① 計画期間中の死亡災害の発生件数を15%以上減少させる。
- ② 計画期間中の墜落・転落による死亡災害の発生件数を15%以上減少させる。
- ③ 計画期間中の死傷災害の発生件数を5%以上減少させる。
- ④ 60歳以上の死傷年千人率を令和9年までに減少に転じさせる。

これらの目標の達成を目指し、当協会におきましては、労働災害を減少させるための具体的手法として、リスクアセスメントの確実な実施の推進、建設業労働安全衛生マネジメントシステム「ニューコスモス」、中小規模建設事業者向け「コンパクトコスモス」の導入促進を図っています。

また、建設業の特性を踏まえた、メンタルヘルス対策や「新ヒヤリハット報告」の普及、化学物質による健康障害防止対策、自然災害からの復旧・復興工事や中小専門工事業者等への安全衛生対策事業の推進、さらに「建築物石綿含有建材調査者講習」等各種安全衛生教育にも積極的に取り組んでおります。

会員各位をはじめ、関係者の皆様におかれましても、今後ともより一層労働災害防止にご尽力いただきますようお願い申し上げます。



全国建設業労働災害防止大会は、会員をはじめ多くの関係者が一堂に会し、共通認識を分かち合い臨場感を共有することで、労働災害防止活動の大切さを再確認し、心新たにゼロ災害を達成するために尽力することを誓うとともに、最新の安全衛生情報や安全衛生管理ノウハウ・好事例等に触れることにより、安全衛生意識の高揚を図る場として開催しております。

本日は、この後、安全衛生表彰、安全の誓いの採択を行い、引き続き、厚生労働省安全衛生部長小林洋子さんから「労働安全衛生行政の動向について」並びに宇宙飛行士で日本科学未来館名誉館長の毛利衛さんから「宇宙からの贈りもの」と題する講演会を開催いたします。

明日は、建築部会、土木部会、安全衛生教育部会、低層住宅部会、ICT部会、メンタルヘルス部会、コスモス部会の7つの専門部会を「広島国際会議場」で開催し、会員企業等において成果を上げた安全衛生対策の好事例を各部会で発表していただき意見交換等を行うほか、厚生労働省、広島労働局、国土交通省の行政担当の方々から安全衛生対策などについてご講話をいただきます。

なお、化学物質等の扱いも多くなり、それに関する管理も必要となる中、安全装器具等のメーカー等が出展する、安全衛生保護具、測定機器、安全標識等の展示会を、本日は当会場隣の小アリーナ、明日は広島国際会議場で開催するとともに、「安全衛生保護具等WEB展示会」も11月13日まで開催しておりますので本大会にあわせて皆様のご参加・ご視聴をお願いいたします。

最後に、本大会についてご支援・ご協力を賜りました関係行政機関並びに大会の準備・運営にご尽力いただいた広島県支部の檜山支部長をはじめ、関係各位に対し深甚なる感謝を申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。



## 岸田 文雄 内閣総理大臣

このたび、広島市において第60回全国建設業労働災害防止大会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

本大会の主催者である建設業労働災害防止協会は、1964年の設立以来、建設業の健全な発展に資するために、積極的に労働災害防止活動に取り組まれており、その長年の御尽力に対して改めて心より深く敬意を表します。

また、我が国の建設業の労働災害防止活動に精力的に取り組んでこられた御功績を讃えられ、本日栄えある表彰を受賞される皆様に対して心からお祝いを申し上げます。

近年、気候変動の影響もあり自然災害が激甚化、頻発化しており各地で深刻な被害が多発しております。国民の命と暮らしを守ることは国の重要な責務であり、政府として防災・減災、国土強靱化に向けた対策を進めています。建設業は、防災・減災、国土強靱化をはじめとする社会資本整備の担い手であると同時に、災害時には真っ先に現場に駆け付け、応急、復旧、復興を担う地域の守り手です。

国民生活や社会経済になくてはならない存在である建設業界が、今後ともその役割を果たしていくためにも、官民共同で建設業に携わる方々が安全に、安心して働ける職場環境を形成していくとともに、次世代を担う若者たちが将来に希望を持てるような魅力ある産業にしていかなければなりません。このため政府としては公共工事設計労務単価について物価上昇を上回る前年度比プラス5.2%の引き上げを実施するなど、現場で働く方々の賃上げや働き方改革に重点的に取り組んでいます。

我が国の建設業における労働災害は長期的に減少傾向にあり、これは、貴協会が、労働災害を防止するための安全衛生教育の実施やキャンペーンの展開等、長年に亘る取組の効果が確実に現れてきているものと思います。

しかしながら、労働災害によって尊い人命が未だ失われている状況にあることも事実であり、労働災害の撲滅を目指し、今後もなお一層の取組をお願いいたします。

結びに、今回の第60回全国大会の盛会と貴協会のますますの御発展、会員各位の御健勝、御活躍を祈念いたしまして御祝いの言葉といたします。



## 武見 敬三 厚生労働大臣 名代(小林 洋子 安全衛生部長)

第60回全国建設業労働災害防止大会の開催にあたり、御挨拶申し上げます。  
本日、本大会が多くの皆様の御参加を得て盛大に開催されますことを、まずもってお慶び申し上げます。

また、長年に亘り我が国の労働災害防止活動に精力的に取り組んでこられた御功績により、栄えある表彰を受けられる皆様には、心よりお祝い申し上げます。

建設業における令和4年の労働災害発生状況を見ますと、労働災害で亡くなられた方は、新型コロナウイルス感染症によるものを除いて281名と、前年より3名増加しており、令和2年以降増加が続いています。

令和5年においては、7月に高架道路の建設工事中に橋桁が落下し、また、9月にはビル建設工事中に鉄骨が落下するなど、大きな死亡災害が発生しております。

「労働災害は決してあってはならない」ものであり、今もなお、労働災害により多くの尊い命が失われているという事実を、私たちは重く受け止めなければなりません。

一方で、休業4日以上死傷災害は、昨年は14,539名と、その前年と比較し387名の減少となりました。これは皆様方が労働災害の防止に取り組まれた大きな成果であると受け止めています。

労働災害について事故の型別で見ますと、死亡災害、死傷災害のいずれも、依然として「墜落・転落」によるものが最多となっており、特に死亡災害では約4割を占めています。

厚生労働省は、近年の労働災害発生状況を踏まえ、本年度から「第14次労働災害防止計画」を開始しています。この計画では、建設業における労働災害防止対策を重点取組事項の一つとして位置づけ、「墜落・転落災害防止」の充実強化等を掲げております。

具体的な取組の一つとして、足場からの墜落防止措置を強化いたします。足場の点検について、本年10月1日から、点検者に自覚と責任をもって確実に点検を実施させるよう、事業者が予め点検者を指名すること、点検者の氏名を記録及び保存することといたしました。また、令和6年4月1日から、法令上、手すり等の設置義務が課されていない一側足場の使用範囲を明確化し、原則として本足場を使用することとしております。

さらに、化学物質規制については、事業者による自律的管理を基軸としつつ、国の定める基準等の範囲内で、リスクアセスメントの結果等に基づき、ばく露防止のために講ずべき措置を適切に実施するなどの新たな規制を本年4月から順次施行しております。

石綿使用建築物の解体は、2030年頃のピークに向けて更に増加することが予想されるため、今後の解体工事等で健康障害を発生させないことが重要です。本年10月1日着工の工事からは、「建築物等石綿含有建材調査者」などによる事前調査の実施が義務付けられておりますので、適切な御対応をお願いいたします。

本年の大会スローガンは、「仲間を思いやる一声 みんなで実現しよう安全な職場」です。

建設業は、令和6年4月から時間外労働の上限規制が適用されます。建設業界としては、働く方の高齢化や担い手不足といった困難な課題を抱えつつ、働き方改革を推進していかなければならず、厳しい状況であると認識しております。

しかしながら、そうした状況だからこそ、働く方お一人おひとりの安全と健康を守ることが求められます。皆様方が、共に働く仲間に対し、思いやりの一声を掛けることが、安全で健康な職場の実現、それが貴重な担い手の確保・育成・定着へと繋がっていくものと確信しております。

本大会の開催地である広島県は、近年幾度も大規模災害に見舞われておりますが、そのたびに力強く復旧・復興を果たしてこられました。災害からの復旧・復興は、建設業の皆様の御尽力あってこそ実現できるものです。

皆様、御自身と仲間の命や健康をしっかりと守っていただけるよう、本日の大会を通じて共有される労働安全衛生の知識と経験が、働く方々、どなたにとっても有意義なものとなりますことを御期待申し上げます。

結びになりますが、本大会の運営に御尽力いただきました建設業労働災害防止協会並びに広島県及び広島市をはじめ、関係者の皆様にご敬意を表しますとともに、皆様の益々の御活躍と御健勝を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。



## 齊藤 鉄夫 国土交通大臣 名代(蒔苗 浩二 大臣官房審議官)

第60回全国建設業労働災害防止大会の開催にあたり、一言御挨拶申し上げます。

本日ご出席の皆様には、平素より国土交通行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本大会では、建設業における安全衛生水準の向上を図るため、毎年、全国の建設業の安全衛生担当者が一堂に会し、労働災害防止活動に顕著な功労・功績のあった安全功労者等の表彰や最新の安全衛生管理活動の発表等が行われるものと伺っております。まずは、今回表彰を受けられる皆様方に心より御祝い申し上げます。

また、本大会の主催者である建設業労働災害防止協会は、「人命尊重」という基本理念の下、建設業における労働災害の防止に向け、日々、安全衛生水準を高めるための活動に積極的に取り組んでおられます。その長年の御尽力に対して、深く敬意を表します。

建設業は、「社会資本整備の担い手」と同時に、「地域の守り手」として、重要な役割を果たしています。特に、自然災害が激甚化・頻発化している近年においては、災害復旧や被災者への支援活動等において昼夜を分かたず最前線でご対応いただく機会が増えており、これに伴い、国民の安全・安心の確保を担う建設業に寄せられる期待も、ますます高まっています。

建設業が、今後もこうした役割を果たし続けていくためには、第一に、現場の安全をしっかりと確保し、日々、安心して働ける環境を築いていくことが重要です。

建設業における労働災害をみますと、長期的には減少傾向にあるものの、直近では、残念ながら死亡災害が2年連続で増加し、憂慮すべき状況にあります。国土交通省では、この現実をしっかりと受け止め、本年6月、「建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画」を改定しました。引き続き、この計画に則り、建設工事に携わる方々の安全の確保に向けた取組を着実に進めてまいります。

また、建設業における労働災害を防止するためには、関係各位及び建設業労働災害防止協会の皆様の御力添えが不可欠です。今年度は、建設業労働災害防止協会で策定された「第9次建設業労働災害防止5か年計画」の初年度となりますが、今後、同計画に基づき、より一層積極的かつ確実に取組を推進されますことを切に御期待申し上げます。

また、建設業の「担い手」の確保を図りながら、現場で頑張っておられる皆様がやりがいと誇りを持てる職場にしていくこと、さらには、次代を担う若者から選ばれる魅力的な産業としていくことも重要です。

例えば、公共工事設計労務単価は、11年連続の上昇となり、特に本年は、物価上昇を上回る大幅な引上げとなりました。国土交通省としても、この引上げが技能者の賃上げに結びつくよう、引き続き「処遇改善」のための施策の充実・強化に取り組んでまいります。また、適正工期による契約の確保や施工時期の平準化に向けた取組の推進、ICT等を活用したi-ConstructionやDX等、「働き方改革」や「生産性向上」の取組も推進してまいります。

結びに、本大会の成功と、関係各位のますますの御発展と御活躍を祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。



## 湯崎 英彦 広島県知事

本日は、第60回全国建設業労働災害防止大会が、全国から多くのご参加のもとで、この広島県で盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げますとともに、皆様のお越しを心から歓迎申し上げます。

建設業労働災害防止協会におかれましては、長年にわたり建設業における労働災害の防止に向けた活動を積極的に推進され、建設業の労働安全衛生水準の向上に寄与されてこられました。皆様の御尽力に対しまして、深く敬意と感謝の意を表します。また本日、労働災害の防止に貢献されました御功績によって表彰・顕彰を受けられる皆様方、誠におめでとうございます。心から御祝い申し上げます。

併せまして、今年5月のG7広島サミットにつきましては、開催にあたり多大な御協力をいただき感謝申し上げます。被爆地での開催は今回が初めてであり、原子爆弾による被害から復興した広島に各国の首脳が集まり対話を重ねたことは、世界に向けて力強いメッセージを発信することができたと考えております。将来にわたって広島に生まれ育ち、住み働いて良かったと心から思える広島の実現を基本理念とした「安心・誇り・挑戦 広島ビジョン」に基づいて、社会情勢の変化による新たな課題に対応した効果的かつ効率的なインフラマネジメントの推進に取り組んでいるところであり、建設業の皆様御協力は欠かせないものです。

このようななか、全国の建設業関係者の皆様一堂に会し、労働安全衛生にかかる知識の共有化と意識の向上に取り組まれることは大変心強いことです。本大会が成功裡に終了され、その成果が十二分に発揮されますことを御期待申し上げます。

また、せっかくの機会でございますので、皆様には是非とも世界文化遺産であります厳島神社、原爆ドームをはじめとする本県の歴史や文化、自然、食など様々な魅力に触れていただければと存じます。

建設業労働災害防止協会の一層のご発展と、ご参加の皆様の益々の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。お祝いの言葉と代えさせていただきます。



## 松井 一實 広島市長

このたび、第60回全国建設業労働災害防止大会が広島市におきまして盛大に開催されますことをお祝い申し上げます。また、広島市民を代表いたしまして、心から歓迎いたします。

建設業労働災害防止協会におかれましては、昭和39年の設立以来、様々な活動を通じて労働災害防止に努めておられます。建設業における死亡災害減少への多大なる御貢献、関係者の皆様の長きにわたる御尽力に対しまして深く敬意を表します。

また、労働災害防止活動への積極的な貢献により、安全衛生功労者表彰並びに顕彰を受けられます方々に心から御祝い申し上げます。

労働災害防止のためには、法令に基づく対応に加え、作業に関わる全ての方が、日ごろから危険に対する認識、そして安全意識を高めることが何よりも重要と思います。

広島市におきましては、平成4年から毎年6月を公共工事災害防止強調月間と定め、私とともに市職員が工事現場の点検を行い、労働災害の防止に努めるといったことを行っております。

本大会を通じ、皆様方の安全衛生に関する知識の習得、意識の高揚を図られ、各地域の更なる労働災害の防止に繋がっていくことを心より願っております。

今年5月の歴史に残るG7広島サミットの開催により、海外からの観光客が増加しておりますが、今回、全国各地からお越しいただいた皆様方には、是非この機会に、平和記念公園の中にある原爆死没者慰霊碑への参拝をお願いできないかと思っております。参拝いただき慰霊碑の碑文の意味を受け止めていただければと思います。碑文には「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」と刻まれておりますが、これは過去の悲しみに耐えて、憎しみを乗り越え、そして全人類の共存と繁栄を願って、さらには真の世界平和の実現を祈念する広島心を表すものです。この広島心を皆様方の心に刻んでいただければと思います。

広島街並み、瀬戸内海の海の幸をはじめとする食、歴史、自然、文化をお楽しみいただき、できれば、また広島を訪れていただければと思っております。

本大会が、建設業に関わる皆様にとって、実り多きものとなりますとともに、建設業労働災害防止協会の今後の益々の御発展、建設業に携わる皆様方の御活躍を心から祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



## 歓迎のことば

檜山 典英 大会実行委員長・広島県支部長

広島県支部を代表し、歓迎のことばを申し上げます。

このたび第60回全国建設業労働災害防止大会を12年ぶりに広島で開催することができ、誠に光栄に存じます。

全国からご参加いただきました皆様、心から歓迎申し上げます。

また、ご多忙の中、ご臨席いただきました御来賓の皆様にも厚く御礼申し上げます。



12年前、広島で全国大会が開催されましたのは、東日本大震災が発災した年でした。それから12年の間、広島においても2回にわたり大規模な土砂災害が発生し、地元建設業としましても最前線にたって復旧・復興に取り組んでまいりました。

現在、建設業は様々な課題に直面しておりますが、これからも社会的使命を果たし、健全に発展していくためにも、まずは安全と健康を確保した職場環境の整備が不可欠であります。

本大会を通じて、皆様の安全衛生水準の一層の向上につながっていくことを、心から祈念いたします。

せっかくの機会ですので、広島市の紹介をさせていただきます。

78年前、草木も生えないといわれた原爆の荒廃から、広島は美しい国際平和都市へと復興してまいりました。さらに、新たな未来に向かって、本会場の向かい側では新サッカースタジアムが建設中であり、広島駅、広島中心部でも様々な開発が行われております。また、本年5月にはG7広島サミットも開催されました。平和と復興の象徴である広島から、世界に向けて国際平和のメッセージを発信でき、歴史的意義のあるサミットであったと思います。一方で、このサミットは広島歴史や文化も発信することになりました。サミット首脳は平和記念資料館を訪問し、また、瀬戸内海を船で渡り、厳島神社をお参りし、さらには、会食で提供された日本酒や地元食材も話題になりました。本日のアトラクションはサミットで上演された同じ演目の広島神楽をご覧ください。

皆様にはお時間の許す限り、サミット首脳と同じく、広島歴史や文化、様々なグルメも堪能いただければと思います。

結びにあたりまして、本大会開催にご支援をいただきました関係者の皆様に、深く感謝を申し上げますとともに、ご参加いただきました皆様にとって、実りある大会になることを心から祈念申し上げます、歓迎のことばとさせていただきます。二日間よろしく願いいたします。





## 安全衛生表彰・顕彰基金による顕彰

### ■ 安全衛生功労者に対する表彰

建設業における安全衛生活動に長年尽力され、功労・功績のありました方々への個人賞、ならびに優秀な安全衛生成績をあげられた事業場等に対する優良賞に関する「安全衛生表彰」が行われました。

### ■ 顕彰基金による顕彰

創立20周年記念事業の一環として、昭和58年から当協会に顕彰基金を設置しています。建設業の安全・衛生に係る発明、研究など労働災害防止に顕著な功績のあった方に対して顕彰が行われました。

各賞代表者に対し、今井会長より表彰状が授与されました。

## 1. 安全衛生表彰

### 個人賞

#### (1) 功労賞 (計103名)

浜松 和也氏  
錦建設(株)  
[広島]



#### (2) 功績賞

①委員会委員等 (計53名)  
出合 和広氏  
(有)出合組  
[鳥根]



伊東 竜矢氏  
(有)手箱建設  
[高知]



②安全衛生推進者  
(計66名)

岩崎 泰光氏  
(株)岩崎建設  
[香川]



③所長 (計52名)  
伊達 茂雄氏  
(株)荒木組  
[岡山]



④職長 (計55名)  
真鍋 和幸氏  
(株)福井組  
[香川]



### 優良賞

#### ①会社 (計123社)

(有)栄建設  
[徳島]



(有)上諏訪土建  
[愛媛]



#### ②工事現場

(計114現場)

洋林建設・江村建設  
特定建設工事共同企業体  
周南第1住宅CDE棟・  
集会所建築主体工事  
[山口]



## 2. 顕彰基金による顕彰

人と機械の協調安全を用いた高所作業車の安全性向上  
大和ハウス工業(株) 安全部 森 朋仁氏



## 安全の誓い

近年、私たち建設業においては働き方改革の推進、建設従事者の高齢化の進展、担い手の確保・育成などさまざまな課題が山積する状況にあります。

また、気候変動の影響から台風や集中豪雨による大規模災害が各地で頻発しており、被災地域の迅速な復旧・復興工事、人々の生活を維持していくためのインフラ整備・維持管理や地球温暖化防止の推進等建設業が担う役割は一層重要なものとなっています。

我々、建設業は取り巻く環境が激変する中においても、人命尊重の基本理念の下、働く者一人ひとりの安全と健康の確保を第一に不断の努力を続けてまいりました。

しかしながら、令和4年の建設業における死亡災害は、全体としては前年より3人増加し、墜落・転落による死亡災害においても6人増加しました。

一方、休業4日以上死傷災害については387人の減少となっております。

令和4年度に終了した「第8次建設業労働災害防止5か年計画」では、死亡者数については目標を達成することができましたが、残念ながら、死傷者数は目標を達成することができませんでした。この事実を真摯に受け止め、関係者が一丸となり労働災害防止対策を全力で推進するとともに、「働き方改革」による職場環境の改善、ICTの活用による安全性・生産性の向上を進め、建設業を将来の担い手となる若者、女性や高齢の方々が安心・安全に活躍できる魅力ある産業にしなければなりません。

令和5年度は建防災が掲げる「第9次建設業労働災害防止5か年計画」の初年度となります。関係者が一体となって、一人の被災者も出さないという基本理念の実現に向け、死亡災害の減少、死傷災害及び60歳以上の死傷年千人率を減少に転じさせることを目指すとともに、本日の全国大会を契機として、一人ひとりが安全衛生意識の向上を図り、建設業に従事する方々が労働災害に遭うことがないように

- 一 店社・作業所の安全衛生管理体制の強化及び「墜落・転落災害撲滅キャンペーン」等をはじめとする三大災害防止対策の徹底
- 一 リスクアセスメントの確実な実施とニューコスモスの積極的な導入
- 一 建設現場におけるメンタルヘルス対策の定着と新ヒヤリハット報告を活用した安全衛生対策の推進
- 一 健康確保対策や高齢労働者の労働災害防止対策の推進

を重点施策として、安全衛生活動に積極的に取り組み、建設業に従事するすべての世代が希望や誇りを持ち、家族や社会のために精一杯働くことのできる安全で安心な魅力ある職場環境を実現することを誓います。



細谷 浩昭 大会副実行委員長

## 安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会

全国大会開催期間中、建設業労働災害防止協会による「安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会」が同時開催されました。最新の安全衛生保護具や測定機器など、カタログなどでしか目にする事ができなかった商品を実際に手に取り、メーカー等から直接説明を聞ける機会ということもあり活気にあふれていました。





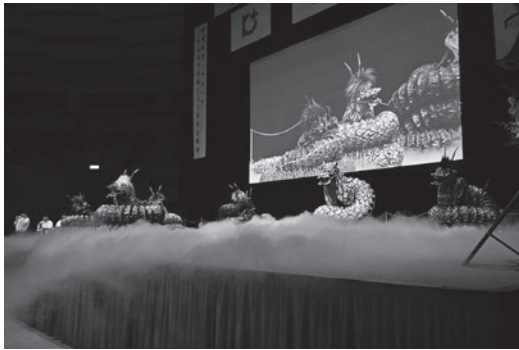
## 講演「労働安全衛生行政の動向について」

厚生労働省 労働基準局 小林 洋子 安全衛生部長



## アトラクション 神楽「八岐大蛇」

琴庄神楽団



## 講演「宇宙からの贈りもの」

宇宙飛行士 日本科学未来館名誉館長 毛利 衛氏



## 専門部会

### 建築部会

発表① 市街地におけるオフィスビル解体工事での  
飛散ゼロに向けて



鹿島建設(株) 中国支店  
明治安田生命広島ビル解体工事事務所  
所長 井上 猛則氏

発表② 煙突アスベストの実態



(一社) Hi-jet アスベスト処理協会  
会長 藤林 秀樹氏

発表③ 大規模、広範囲かつ、複数棟の解体工事における  
無事故無災害の達成に向けた取組



(株)竹中工務店 神戸支店  
作業所所長 黒河 勝之氏

発表④ 高速道路に近接する建物における安全対策



(株)奥村組 東日本支社  
三軒茶屋工事所  
工事所長 正木 亮次氏

発表⑤ 劇場建築の吹抜け空間における  
危険な高所作業を減らす施工計画



大成建設(株) 中部支店  
建築部  
作業所長 村橋 亮氏

発表⑥ “みらいのげんば”における安全衛生管理の  
取り組み



(株)熊谷組 東北支店  
建築部  
部長 青柳 謙太郎氏

発表⑦ 特別高圧線近接作業における安全管理



(株)大林組 名古屋支店  
半田健康管理センター工事事務所  
主任 河路 峻也氏

発表⑧ 築40年以上経過した高層ビルの外壁改修



(株)フジタ 広島支店  
BLC推進部  
次長 鹿角 英児氏

発表⑨ 喜多見9丁目計画の現場管理



東急建設(株) 首都圏建築支店  
第二建築部  
松本 克己氏

発表⑩ スタジアム居ながら改修工事において  
イベント影響ゼロを目指して



清水建設(株) 名古屋支店  
三河営業所  
工事長 橋本 敏志氏

発表⑪ 病院リニューアル工事における安全性の向上



戸田建設(株) 横浜支店  
建築工事部  
作業所長 竹岡 元宏氏

発表⑫ 居ながらの病院建替工事における、病院への影響を  
最小限に抑えた施工と安全に対する取り組みについて



(株)竹中工務店 神戸支店  
建築技術管理グループ  
伊藤 克昌氏

発表⑬ 高圧線下でのクレーン作業時の安全管理手法と  
次世代制御システム開発への取り組み



鹿島建設(株) 中部支店  
サンクチュアリコート高山工事事務所  
工事課長代理 高田 竜太氏

発表⑭ 重篤災害撲滅に向けて



清水建設(株) 広島支店  
徳山営業所  
工事長 重田 宏幸氏

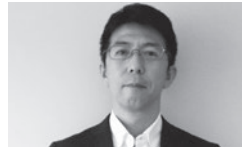
## 土木部会

### 発表① シールド現場の安全管理と働きやすい環境作りの取組み



三井住友建設(株) 広島支店  
土木部  
工事主任 藤永 諭氏

### 発表② モノレール橋脚直下のトンネル工事における安全対策



飛鳥建設(株) 九州支店  
飛鳥・太名嘉・丸尾JV赤嶺トンネル  
北作業所  
工事課長 兼松 亮氏

### 発表③ レール方式を採用した小断面山岳トンネル工事の安全に関する取組み



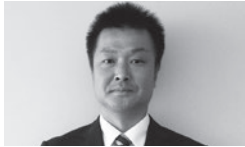
(株)大林組 札幌支店  
工事長 岡崎 雄一氏

### 発表④ 大規模崩落斜面直下での堰堤工事における安全対策



(株)森組  
土木事業本部 施工部  
乙石川上流砂防堰堤工事  
所長 住田 知己氏

### 発表⑤ アンカー式練石積作業における施工の省力化・安全対策について



大協建設(株)  
工事部  
工事係長 宮下 篤史氏

### 発表⑥ TBM掘削工事における安全対策の取り組みについて



前田建設工業(株) 中国支店  
広島TBM作業所  
作業所長 田邊 茂氏

### 発表⑦ 供用中の道路におけるトンネル覆工補強工事の安全管理



三井住友建設(株) 東京土木支店  
風祭作業所  
作業副所長 永井 宏朗氏

### 発表⑧ 今までにとらわれない革新・挑戦的な安全管理



清水建設(株) 土木東京支店  
横浜土木営業所  
中央自動車道新小仏トンネル工事作業所  
工事長 菊池 順氏

### 発表⑨ 深さ30mの立坑と狭い坑内空間におけるシールド安全管理



(株)大林組 九州支店  
中部9号幹線JV工事事務所  
現場代理人 山本 裕三氏

### 発表⑩ 耐震補強工事における水平力分担構造設置の安全対策



大成建設(株) 横浜支店  
新湘南バイパス赤羽根高架橋  
コンクリート橋耐震補強工事作業所  
作業所長 古谷 智之氏

### 発表⑪ 切盛土工事における災害防止に向けた工法選定の取組み



清水建設(株) 広島支店  
土木部  
工事主任 河岡 忍氏

### 発表⑫ 大深度地下空間での安全な作業環境の構築



戸田建設(株) 首都圏土木支店  
土木工事1部 工事2室  
作業所長 松本 浩一郎氏

### 発表⑬ 建設DXがもたらす新たな安全運営



飛鳥建設(株) 首都圏土木支店  
芝浦ケーソン作業所  
現場代理人 濱西 将之氏

### 発表⑭ 日下川新規放水路(呑口側)工事の安全衛生管理活動



飛鳥建設(株) 四国支店  
日下川新規放水路(呑口側)  
工事事務所  
工事事務所長 藤井 広志氏

## 安全衛生教育部会

### 講話 職場における新たな化学物質規制



厚生労働省 労働基準局  
安全衛生部 化学物質対策課  
環境改善・ばく露対策室長 平川 秀樹氏

### 発表① 安全パトロール用紙の電子帳票化



戸田建設(株) 広島支店  
安全管理部  
蔵岡 巖氏

### 発表② 災害防止協力会の安全活動



鉄建建設(株) 大阪支店  
安全品質環境部  
部長 折田 新吾氏

### 発表③ 移動型安全道場「甕割号」による 現場作業員への直接教育



清水建設(株)  
安全環境本部 安全部  
高杉 一輝氏

### 発表④ 安全衛生管理における看護師の取組みについて



大高建設(株)  
常務執行役員 安全部長 川添 将文氏

### 発表⑤ どうしたら止められる？連鎖する労働災害からの脱却



鹿島建設(株) 東北支店  
ハロウインターナショナルスクール  
安比工事事務所  
所長 渡部 寛氏

### 発表⑥ ニューマチック・ケーソン工事施工における 追加的安全衛生対策



オリエンタル白石(株) 本社  
技術本部 技術部  
担当課長 堀江 正樹氏

### 発表⑦ 『とめた！』災害連鎖の波



石黒建設(株)  
安全本部  
安全環境部長 山本 真範氏

### 発表⑧ 山岳トンネルでの安全管理も基本は同じ



三井住友建設(株) 中部支店  
三遠道路4号トンネル作業所  
所長 中斉 剛氏

### 発表⑨ 既存のシステム、ソフトを有効活用した安全管理



五洋建設(株) 中国支店  
建築部  
専門部長 橋本 渉氏

### 発表⑩ 協調安全を用い高所作業車オペレーターの ウェルビーイングの向上



大和ハウス工業(株)  
安全部  
主任 森 朋仁氏

### 発表⑪ 女子中高生と職長会で取組む安全



(株)熊谷組 首都圏支店  
東京女子学園建替計画作業所  
統括所長 堀江 恵介氏

### 発表⑫ 安全意識向上とコミュニケーションによる 災害防止



清水建設(株) 関西支店  
医誠会国際総合病院新築工事建設所  
工事主任 仙波 真一氏

### 発表⑬ ダイバーシティ・働き方改革を意識した やさしい作業所への取組み



(株)竹中工務店 広島支店  
作業所  
作業所長 二宮 剛章氏

### 講話 建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望



国土交通省  
不動産・建設経済局 建設市場整備課  
専門工事業・建設関連業振興室長  
沖川 弘毅氏

### 講話 労働災害防止に向けた最近の厚生労働省の取り組み



厚生労働省 労働基準局  
安全衛生部 安全課  
建設安全対策室長 土井 智史氏

## 低層住宅部会

### 発表① 地方工務店で働く作業者の安全意識向上対策



(株)ブラネックス  
安全衛生教育部

講師 岡本 邦夫氏

### 発表② 新ヒヤリハット報告を活用した安全管理活動



大和ハウス工業(株)  
技術統括本部 安全部

梶清 大輔氏

### 発表③ 中層木造ハイブリット構造における安全衛生管理



清水建設(株) 東京支店  
栃木営業所

工事主任 原 健太郎氏

### 発表④ 住宅系現場監督の働き方とキャリアセミナー実施の効果について



全国低層住宅労務安全協議会  
じゅうたく小町部会 キャリア班

根本 希美氏

### 発表⑤ 「吊荷の下に入らない(TSH)活動」の取り組み



旭化成ホームズ(株)  
施工本部 施工技術部  
構造・外装グループ

磯部 政周氏

### 発表⑥ 労災管理システム



積水ハウス(株)  
施工本部 施工戦略部

飯田 広子氏

### 講話 広島県の建設業における労働災害の現状



厚生労働省 広島労働局  
労働基準部

健康安全課長 中村 貴紀氏

### 発表⑦ パトロールを安全教育の場とする真心の活動



山梨県木造家屋等建築工事安全対策協議会  
ブルーキャップス第11期隊

隊長 井上 昇氏  
副隊長 井上 修司氏

### 発表⑧ 安全な作業環境を常に維持するために



(株)ダイサン  
取締役 監査等委員 和田 誠一氏  
執行役員 安全管理部  
部長 安西 清次氏

### 発表⑨ 法改正後の墜落制止用器具(安全带)の現状



大阪住宅安全衛生協議会  
現場災害防止部会

部会長 鶴飼 浩行氏

### 発表⑩ フルハーネス型墜落制止器具の普及の取り組みについて



日本安全带研究会

井上 均氏

### 発表⑪ DX化の普及による低層住宅の現場環境について



全国低層住宅労務安全協議会  
環境安全対策部会

部会員 青木 大介氏  
(タマホーム(株))

### 発表⑫ 低層現場における遠隔現場の安全管理



大和ハウス工業(株)  
本社技術統括本部 建設DX推進部  
住宅系施工グループ

主任 馬場 健太郎氏

### 発表⑬ 「安全(衛生)管理士」による支援をご活用ください



建設業労働災害防止協会  
技術管理部  
安全管理士(広島県支部駐在)

門川 真彦氏

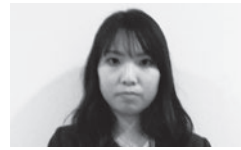
## ICT部会

### 発表① クラウドカメラの活用で、死角を無くし、管理密度を充実する安全活動



(株)竹中工務店 広島支店  
生産統括部  
技術グループ長 貞永 誠氏

### 発表② DX/ICTの活用による施工の安全性の向上



清水建設(株) 関西支店  
新名神梶原トンネル建設所  
工事主任 長塚 真美氏

### 発表③ 建設業DXへの挑戦



安田産業(株)  
代表取締役社長 安田 猛氏

### 発表④ グループウェアを活用したCOHSMSへの取り組み



旭テック(株)  
安全衛生・品質管理室  
室長 伊藤 純氏

### 発表⑤ ICT活用による作業効率・安全管理能力向上への挑戦



(株)大林組 四国支店  
建築工事部  
副部長 玉井 真吾氏

### 発表⑥ 現場安全業務に関するICTの取組



五洋建設(株)  
安全品質環境本部  
安全品質環境部  
担当課長 中島 大輔氏

### 発表⑦ リニューアル工事におけるICTツール等を駆使した施工計画と安全管理



鹿島建設(株) 関西支店  
フェニックスタワー工事事務所  
設備担当 蟻田 洋輝氏

### 発表⑧ BIMを活用した『デジタル安全パトロール』の広域化



戸田建設(株) 関東支店  
建築工事部  
工事長 工藤 祐介氏  
建築工事部 フロントローディング推進課  
課長代理 小林 宗悟氏

### 発表⑨ ICTを活用した次世代の安全管理手法



(株)奥村組 東日本支社  
リニューアル技術部  
工事主任 加藤 清孝氏

### 発表⑩ 働き方改革を見据えたスマート生産現場への挑戦



鹿島建設(株) 中国支店  
岡山大鶴薬品 総合棟・倉庫棟  
新築工事事務所  
工事課長 井川 武之氏

### 発表⑪ 土運搬における安全対策



(株)大林組 四国支店  
明神山トンネル工事事務所  
芹ヶ野 明日香氏

### 発表⑫ 広大敷地におけるICT技術・デジタル技術を活用した安全管理の取組



清水建設(株) 名古屋支店  
名古屋岩塚物流センター建設所  
建設所長 伊藤 茂郎氏

### 発表⑬ デジタルツールを利用した生産性向上と安全衛生管理活動



大成建設(株) 関東支店  
南摩ダム本体建設工事作業所  
安全次長 関 史郎氏

### 発表⑭ 特殊建築物の安全施工への取組



戸田建設(株) 九州支店  
建築工事部 工事2室  
作業所長 堀田 耕治氏





## コスモス部会

### 発表① 従業員33名の会社に取り組む 安全マネジメントシステム事例



(株)ホーク  
工事部

課長 横山 文彦氏

### 発表② コスモス認定による進化と課題



西松建設(株)

安全部長 石堂 基氏

### 発表③ 最適な安全衛生システムを目指して



(株)愛亀  
工務部

山本 悠介氏

### 発表④ コスモス導入による店社安全衛生管理水準の 向上



小柳建設(株)

法務担当 保科 正敏氏

### 発表⑤ 「鉄道安全マネジメントシステム」と一体化 させたコスモス導入



広成建設(株) 本社  
施工本部

安全推進室長 高山 宜久氏

### 発表⑥ キタノコスモスとコスモス認定



北野建設(株)  
安全管理本部

部長 小熊 健一氏

## メンタルヘルス部会

### 発表① 新ヒヤリハット報告を活用した 新たな安全衛生のDX化について



新ヒヤリハット報告推進協議会

戸田建設(株)  
ICT統括部 DX推進室

主任 宮崎 孝一氏

大和ハウス工業(株)  
本社技術統括本部 安全部

主任 嶋田 味穂氏

### 発表② 「建災防方式 新ヒヤリハット報告」のDX化、 無料提供による普及促進の取組



東急ジオックス(株)  
建設業メンタルヘルス対策事業化特命PT  
サブリーダー 庄子 貴章氏  
建設事業部 施工管理課  
課長代理 佐藤 邦昭氏

### 発表③ 新ヒヤリハット報告がもたらす レジリエンス能力の効果



建設業労働災害防止協会 山梨県支部

部長 山本 憲一氏

### 発表④ 矢作式 新・ヒヤリハット活用術



矢作建設工業(株)

安全環境部長 紀伊 保氏

### 発表⑤ 下請け『主動』の安全衛生管理体制の構築に 向けて



(株)松本組

常務取締役 坪谷 広之氏

### 発表⑥ 建設現場における労働災害防止に向けて



東洋建設(株) 大阪本店  
建築部

工事課長 樋口 雅一氏